現場研修レポート

工事名	某ショッピングセンター　駐車場下りスロープ鉄骨架台劣化補強工事
工事期間	2022.2.1　　～　　2022.3．15

研修1日目（2/1）　　天候　　曇り／雨

作業内容　・仮設足場組　1名→架台補強部分足場組替え（9：00～12：00）
・既設架台劣化部分撤去工事　4名→斫り、塗装撤去、目荒し（9：00～16：30）

安全管理についての気付き・学び

・一般のお客様が出入りする中で、一般車両と作業員双方に気を配りながらの業務で立入禁止、徐行等の掲示板はあるが、一般のお客様に工事中と気付いて貰える様に看板の色やサイズ、掲示場所の工夫が必要と感じました。

・朝礼で指示はされていたものの、作業中に保護具の着用がされていない状態での作業が見受けられた為、都度着用の指示をし保護具着用での作業を行って貰った。保護具の重要性を理解して貰い、確実に履行して貰える様なアナウンスも必要と感じました。（朝礼等で事故事例等の再周知を行う等）
後、斫り作業等大きな音を伴う作業において、耳栓の着用も必要ではないかと思いました。

品質管理についての気付き・学び（工事写真撮影）

・現場作業中に写真を撮る事の難しさを痛感しました。特に今回の現場においては、作業スペース自体が狭く防音シートで囲われた中での撮影で、作業の合間に協力して貰いながら撮影しました。またスケールの当て方等、どういった撮り方が後から写真で見た時に分かりやすいのか考えながら撮影しました。

その他

・本日の作業で仮設足場組は従来組まれていた足場が作業範囲に干渉する為の組替え作業でした。将来自分でも足場組の管理業務する際は施工範囲等を十分検討し組替え等の手間をなるべく無くす様な計画を立てれる様に留意したいと思います。

現場研修レポート	
工事名	某ショッピングセンター　駐車場下りスロープ鉄骨架台劣化補強工事
工事期間	2022.2.1　　～　　2022.3．15

研修2日目（2/2）　　天候　　晴

作業内容 ・ケミカルアンカー打設　3名→墨出し、試掘、穿孔、穿孔部清掃、
ケミカルアンカー打設（6箇所）（9：00～12：00）

安全管理についての気付き・学び

・本日の作業は出入口を駐車場側に変更したことで、第三者との接触リスクは低減しました。それにより、現場作業の安全管理に重点を置いて業務に当たる事ができました。今後の業務においても店舗営業中の現場での現場への出入口を一般の買い物客と差別化し安全に作業、店舗の営業が出来る様な動線を念頭に計画考えたいと思います。

品質管理についての気付き・学び

・アンカー打設位置を墨出し後、6ミリ程度のキリで穿孔し既設躯体内部の鉄筋や障害物に干渉しないか確認の上、正規のサイズのキリで穿孔を行っていた。
・正規のキリは穿孔深さを正確にする為、予め穿孔深さをキリにマーキングの上、テープを巻きつけ穿孔し過ぎない様に施工していた。
・今回設計図の穿孔位置では既設躯体部内部の鉄筋に干渉した為、ケーアンドイー西川様に確認の上、干渉しない位置での穿孔となった（変更図面メール連絡済み）。
・穿孔後、穿孔部の粉塵をブロアー、ブラシで丁寧に除去し、穿孔深さが図面の規格に適合しているかスケールで計測しアンカー筋には挿入位置にマーキングし、穿孔部に挿入し穿孔深さが規定深さに達しているかを確認する。
・ケミカルアンカー注入後は硬化するまでにアンカー筋を回転しながら挿入する。

その他

・本日の作業では図面のアンカー打設位置に躯体の鉄筋があり施工時に打設位置が変更になりました。このことより、施工計画時の調査で過去の図面や躯体の鉄筋調査等出来る限り多くの情報を収集し施工計画を立てなければいけないと感じました。

現場研修レポート	
工事名	某ショッピングセンター　駐車場下りスロープ鉄骨架台劣化補強工事
工事期間	2022.2.1　～　　2022.3．15

研修３日目（2/3）　天候　　晴

作業内容　・アンカー引張試験　1名（10：00～11：30）
　　・鉄筋組　3名（9：00～16：30）

安全管理についての学び・気づき

・アンカー引張試験の業務においては、検査部に油圧ジャッキにて加圧中は試験器具、アンカーの飛び跳ねの危険がある為、絶対に正面付近に人を立入らせない事とHILTIの検査員より聞きました。また検査器具が結構な重量物の為足場上の作業の場合は落下しない様充分な対策が必要と感じました。引張試験中はアンカーとコンクリートの辺りでピキピキという音がしましたが、HILTI検査員より通常音ですとのことと聞きました。

・鉄筋工においては、各鉄筋のパーツを足場上に移動させる最中の落下の危険があり、袋等に入れて上げる事や落下した場合でもネット等で下までは落ちない様な対策が必要と感じました。また鉄筋パーツの切断面は鋭利なものもある為、保護具着用の徹底する事が大事と思いました。

品質管理についての学び・気づき

・アンカー引張試験において引張試験の加重（ｋN）量を検査員に聞かれ、事前確認が不足していた為答えられず、今後は当日予定されている作業に対し、事前確認をしっかりしなければと思いました。アンカー引張試験は北面、南面の各1箇所を抜取り検査（35ｋN）で行い、報告書については後日郵送での対応となるとの事です。

・鉄筋工については、今回既設の鉄筋の位置に沿う形での施工となる為、現地にて都度加工修正が必要となり新設する場合よりは手数が増える為、鉄筋も余分に用意が必要となり、突発的な状況にも対応できる様準備が必要だとおもいました。

その他

・翌日の鉄筋溶接作業において、社長が懸念されていた、溶接の火花の飛散に対して施工業者さんに鍛冶屋さんに対策出来る用意をして貰う様依頼しました。